

事業名	女性活躍推進事業			
事業の趣旨・目的	不安や困難を抱える女性の居場所づくりやレスパイトできる場所の提供事業を民間団体へ委託することで、誰にも相談することができず孤立している人がひと息つく事ができ、次のステップへ進むための手続き申請や相談機関や関係団体の支援につなげる。 電話や窓口での相談が日常的に困難な方達で相談につながっていないケースがまだまだ数多く存在している可能性がある中、SNSやメール、オンライン会議システムなど相談できるツールを増やすことで、困りごとやその背景に寄り添い、必要な支援へとつなげる。			
事業目標・重要業績 評価指標(KPI)		目標・KPI	目標値(時点)	現状値(時点)
	令和7年度まで(第5次男女共同参画基本計画期間中)の中長期目標	DVの相談窓口を知っている人の割合	60.0% (R5)	51.4% (R1)
	事業目標	SNS、メール、電話などを活用した多様な相談窓口への相談件数	110件 (R5)	74件 (R5.1月末現在)
	事業KPI	レスパイト事業を利用した支援延べ宿泊日数	10泊 (R5)	
事業内容	<p>つながりサポート事業</p> <p>【R4年度から実施し、継続する取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複雑困難な相談内容に専門の相談員が対応し、必要に応じて生理用品の提供。 ・女性同士が互いに情報交換したり支えあうことのできるピアサポートを開催。 ・他の行政機関やNPO等関係団体の支援窓口へ同行するなど、連携して支援につなげる。 ・他の行政機関や団体と連携して実施する個別相談会(年2回) <p>【R5年度から加える新たな取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話対応だけでなく、SNS、メールなどを活用した多様な相談窓口の設置。 ・相談を寄せた女性を支援の対象者として扱うだけでなく、人材としてとらえ自立できる活躍の場へ創出を図る。 ・市内NPO法人と連携し、困難を抱えてはいるが、緊急性はなくシェルター入所の枠組みにあてはまらない女性を対象とした、心とからだを休め、自己決定できる力の回復を図る居場所を提供し、滞在期間中に居住支援や生活保護申請の手続きなどを進める等次のステップへ進むための支援を行う。(レスパイト事業) 			
事業の実施により期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> ・日常的に困難な状況にある方達の相談につながっていないケースがまだまだ数多く存在している可能性がある中で相談できるツールを増やすことで、困りごとやその背景に寄り添い、必要な支援へとつなげることができる。 ・心とからだを休めるためのレスパイト事業を活用することで、女性がエンパワメントし次のステップへ進むことができる。 			
事業効果の検証及び今後の課題の整理方法	本事業の利用状況をもとに、必要とされる相談機関や関係団体との連携や支援策を検証するとともに、利用者の声を聞き取りながら、改善点や課題を整理す			